

各学部のアドミッション・ポリシー

人文社会科学部

1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視した教育カリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、地域社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

【文化創生課程】

- ・人文科学の諸領域（考古学，民俗学，芸術，歴史学，哲学，文学，外国語等）にかかわる専門知識・技能等を習得するのに十分な基礎学力を有する人
- ・国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人
- ・地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等への貢献をとおして、地域社会の発展のために積極的に行動できる人

【社会経営課程】

- ・社会科学の諸領域（経済学，法学，会計学，経営学，社会学，人類学，統計学，情報科学等）にかかわる専門知識・技能等を習得するのに十分な基礎学力を有する人
- ・少子高齢化や人口減少，経済・産業基盤の変化等，現代社会が直面する諸課題の発見と解決に意欲的である人
- ・自治体の政策立案や地域産業の育成，地域住民との協働による問題解決等への貢献をとおして，地域社会の発展のために積極的に行動できる人

2) 入学者選抜の基本方針

前期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から，大学入試センター試験の結果，個別学力検査の結果及び調査書の内容を総合して選抜します。

後期日程

高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し，さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から，大学入試センター試験の結果，個別学力検査（小論文）の結果及び調査書の内容を総合して選抜します。

AO入試

人文社会科学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，個人面接，小論文，学習計画書・調査書の採点結果を総合して選抜します。

・入学前に身に付けておいてほしいこと

人文社会科学部には，文化創生課程，社会経営課程という二つの課程があります。いずれの課程で学ぶ場合も，高等学校における学習内容は重要です。人文社会科学分野の学問の基礎をなすものとして，国語（現代国語，古文，漢文，国語表現等）や外国語（英語のほか，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語等）の勉強によって養われるコミュニケーション能力，数学や情報の勉強によって養われる数学的思考力，数的処理能力や情報処理能力，社会（世界史，日本史，地理，現代社会，倫理，政経，倫理・政経等）の勉強によって養われる歴史文化や社会に関する基礎知識を身につけておく必要があります。

1年次には，英語で講義する科目もあります。英語などの外国語の検定資格等に積極的に挑戦するなどして，外国語の力を鍛えておいてください。